

編み物Labo いと基地の

## 編み物算数⑥

## 円の編み方

1.円周の長さ=直径×3.14 (円周率:  $\pi$ )

円周の長さを求める公式です。小学校では「円周の長さ=直径×3.14」で習います。中学校では「円周=2 $\pi$ r」と習います。「円周率」とか「公式」とかという言葉だと難しそうですが、要するに「いろいろ試してみたら円の周りの長さは直径長さの3倍くらいだよ」って教えてくれているだけです。

## 2.目の数=立ち上がりのくさり編み×6

これを編み物に応用すると、これから編む段の目の数(頭の数)は立ち上がりのくさり目<sup>※1</sup>の数の6倍必要なことがわかります。

$$\text{これから編む段の目の数(頭の数)} = \text{【円周の長さ】} \times 2 \text{ (=直径)} \times \text{【円周率】}$$

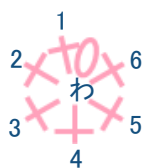
$$\text{これから編む段の目の数(頭の数)} = \text{今までの立ち上がりの目の数} \times 2 \times 3^{\ast 2}$$

※1「目(横)」の数と「段(縦)」は立ち上がりのくさり編みの数で置き換えることができます(編み物算数①~⑤)

※2毛糸や編地は伸びるので、円周率は3でほぼ大丈夫です。

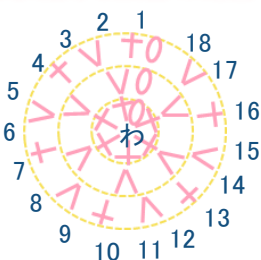
細い糸で大きなものを編むときや糸の種類などにより「円周率=3」では上手くいかないこともあります。

## こま編み1段目の場合



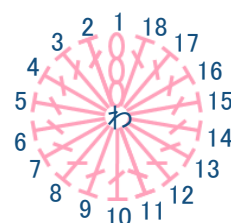
立ち上がり1目×6=6目  
…1段目の目数(頭の数)は6目

## こま編み3段目の場合



立ち上がり1目×3段分×6=18目  
…3段目の目数(頭の数)は18目

## なが編み1段目の場合



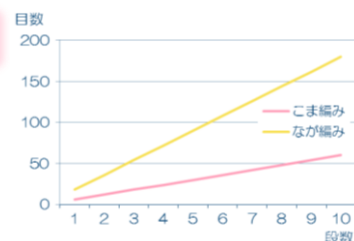
立ち上がり3目×6=18目  
…1段目の目数(頭の数)は18目

## 3.「こま編み」は「6の段」、「なが編み」は「18の段」の九九

目の数は段数に比例します。「比例する」とかいう言葉だとまた難しそうですが、同じ数(6)のかけているので、増やし目の数はどの段でも「同じ」ということです。要するに、「こま編み」は「6の段」、「なが編み」は「18の段」の九九なんですね。

## 【目の数の増え方】

段数	こま編み			なが編み			前の段の何倍の目数か?	何目を何目に増やすのか?
	半径 立ち上がりの目の数	円周 その段の目の数	差 増やし目の数	半径 立ち上がりの目の数	円周 その段の目の数	差 増やし目の数		
1	1	6		3	18			
2	2	12	6	6	36	18	2/1倍	毎日増やす
3	3	18	6	9	54	18	3/2倍	2目を3目にする
4	4	24	6	12	72	18	4/3倍	3目を4目にする
5	5	30	6	15	90	18	5/4倍	4目を5目にする
6	6	36	6	18	108	18	6/5倍	5目を6目にする
7	7	42	6	21	126	18	7/6倍	6目を7目にする
8	8	48	6	24	144	18	8/7倍	7目を8目にする
9	9	54	6	27	162	18	9/8倍	8目を9目にする
10	10	60	6	30	180	18	10/9倍	9目を10目にする



左の表は「こま編み」と「なが編み」の目の数の数の増え方をまとめたものです。この表からわかるとおり、「こま編み」でも「なが編み」前の段から「何倍の目数にするのか?」は一定なのです。

## 【2段目以降の増やし目】

ひとつ前の段の段数と同じ目の数の中で、増やし目を1回する。  
→これから編むのが10段目なら、9目編む中で増やし目を1回して10目にする。